

花野たより

NPO法人阿蘇花野協会会報誌
VOL.16号 2009年5月31日発行

2009. 春号

阿蘇花野協会は本年、5周年を迎えます。
会員の皆さま、これまでのご支援、ありがとうございました。
そして、これからも、よろしくお願いいたします。

●活動報告

野焼き (3月8日)

本年第1回阿蘇野の花観察会 (4月29日)



巨大な炎が草原を駆け、繁ったすすきを一掃する。
この野焼きによって、阿蘇の草原と希少な植物たちが守られてきた。

野焼き (3月8日)



今年の野焼きは、3月8日(日)に実施されました。昨年同様、直前の週には雨が多く、当日も雨の確率は相当に高く、開催を危ぶむ声もありました。ところが、日頃の行いのせいか、なんとか天候は持って、野焼きの開始。

52名の参加者は班ごとに分かれ、防火帯にそって広がります。飛び火や延焼に備えるために、杉の枝、消火器、ジェットシューターなどを持ち、斜面を登っていきます。ジェットシューターは水の入った袋を背負い、放水口から水を噴射する用具です。水を満タンにすれば20キロ、そうでなくとも10数キロの重量があり、斜面の昇り降りはなかなかよい運動です。

雨が続いていましたから、見た目には乾いているようでも地面は湿っているはず。したがって、今年の野焼きはなかなか燃え上がらないだろう。それが野焼きを指導してもらう地

元の方たちの判断でした。

ところが、いざ点火してみると、燃える、燃える。写真で見ただけであればわかるように人の背丈をはるかに超える炎が立ち上がり、轟音とともに斜面を駆け登っていきます。

私たちの野焼きはひとりのけが人もなく、無事に終えることができましたが、その後、別の野焼きでは死傷者が出る事故が起きました。

あらためて自然や炎を扱うことの怖さをよく知り、安全管理の徹底を図らなければならないと再認識する次第です。

阿蘇にとって野焼きは必要なもの。この活動を広げていくためにも、当協会では安全な野焼きをこれからも心がけていきたいと思ひます。会員の皆さんにもご理解とご協力をお願いいたします。



阿蘇野の花観察会

(4月29日)

本年第1回目の「阿蘇野の花観察会」は趣向を変えて、草千里そばの杵島岳にて行いました。毎年、トラスト地で実施していたのですが、たまには違う場所で異なる花々を観察するのもよいだろうと企画したものです。

4月29日(日)、天候は明るい曇り。軽い山登りをするには汗もかかず、ちょうどよい天候でした。草千里駐車場の脇から遊歩道を通って、杵島岳の山頂を目指します。

ところが。

軽い山登りといいながら、登りはじめるとなかなかのハードさ。とりわけ、山頂間近の石段！いつまで登っても山頂が近づいてきません。ロボットのように脚を出しながら、日頃の不鍛練を反省するばかりです。

とはいえ、人によっては辛い登りでもありました。次回からはコースやグループを複数に分けるなど、誰もが参加しやすい方法を考える必要がありそうです。新しい試みを行うとまた新しい課題が発見されますね。これも手探りのボランティアサークルならではの楽しい苦勞。参加者の皆さんも何卒ご容赦ください。

瀬井理事に作成していただいた「春の花シート」を手がかりに、16種類の植物を探しながら歩きます。スマレ、ツボスマレ、タチツボスマレ、フモトスマレなどスマレ類の違いに目をこらし、ミツバツチグリとキジムシロの区別にしゃがみこむ。その他、ハルリンドウ、スギナ、ミヤマキリシマなどなど。野焼きから1カ月後の杵島岳には、春が満開でした。

山頂で昼食。その後、希望者のみで「お鉢廻り」をすることに。杵島岳は休火山です。山頂にはすり鉢状の火口跡があり、その火口の周囲をぐるっと回るのが「お鉢廻り」。

右手に火口を見下ろし、左手には阿蘇の巨大なカルデラ、そして米塚や噴煙をあげる中岳を間近に望みつつ歩きます。火口のすぐ上をトンビが旋回し、雲の影が目の前に広がる阿蘇カルデラを横切っていく。

気持ちいいですね。こういう観察会もたまにはいいな、と思いました。

午後2時すぎに、駐車場で記念撮影をして解散。下り道でひざがガクガク、ふくらはぎがプルプルでした。参加者の皆さんはいかがでしたか。では、また次回の観察会でお会いしましょう。



ツボスマレ



キスマレ



スマレ



セイヨウタンポポ



ハルリンドウ(白花)



夏の「阿蘇野の花観察会」は、7/12(日)・8/9(日)の予定です！

本年3月野焼きを行ったトラスト地は、野焼きや草刈りによって希少植物が多数自生する「花野」としてよみがえりました。中でもヒメユリは、我が国でもっとも優れた群生地であることが確認されています。7月の観察会ではきっとヒメユリの群生に再会できるはず。ご期待ください。
※会員の皆さんには事前のお知らせをお送りし、参加者を確認した上で実施します。

2009年の活動スケジュール

4月	阿蘇野の花観察会	4月29日(水)	阿蘇杵島岳	※終了しました。
5月	会報誌「花野たより	Vol. 16」発行		※本号
6月				
7月	阿蘇野の花観察会	7月12日(日)	阿蘇花野トラスト:ヒメユリ	
8月	阿蘇野の花観察会	8月9日(日)	俵山:秋の七草	
	会報誌「花野たより	Vol. 17」発行		
9月				
10月	草刈り	10月11日(日)	予備日12日(月)、18日(日)	
	草集め	10月18日(日)	予備日25日(日)	
11月	会報誌「花野たより	Vol. 18」発行		
12月				
1月				
2月	会報誌「花野たより	Vol. 19」発行		
3月	2010年野焼き			



ANA広報誌「翼の王国」に掲載されました。

ANAの広報誌「翼の王国」5月号に、阿蘇の草原再生についての特集が掲載され、阿蘇花野協会の活動も紹介されています。16ページにわたる特集で、見ごたえのあるものになっています。
手に入る方はぜひご一読を。

阿蘇花野協会は、次のような団体からの寄付・助成金を受け、活動しています。



財団法人

自然保護助成基金

pro natura
Foundation-Japan



社団法人 日本ナショナルトラスト協会
The Association of
National Trusts in Japan



熊本ファミリー銀行

発行



NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0912 熊本市錦ヶ丘3番15号 TEL&FAX 050-6620-8306

「花野たより」は年4回発行していく予定です。会員の皆さま、今後ともよろしく願いたします。編集部へのご意見・ご要望、励ましなどはメールでよろしく。

k.mori@airs.ne.jp (広報担当:森)